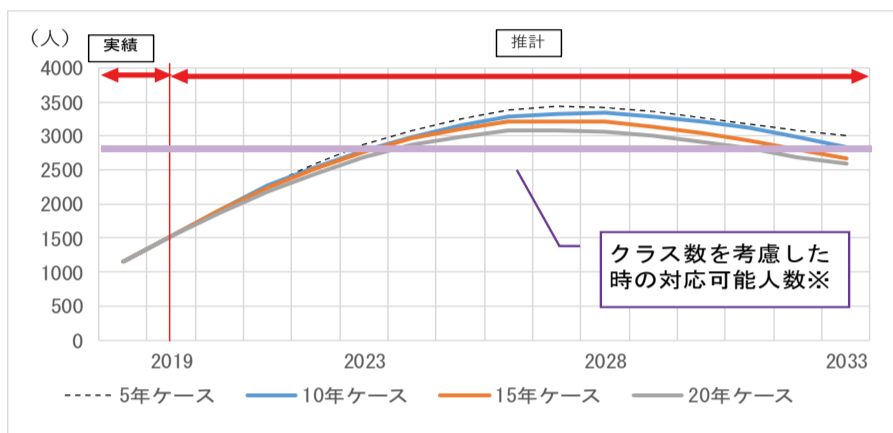


・一般質問	P 2
・行政視察	P 7
・委員会審査	P 8
・決算審査	P 9
・議案審議・議決結果	P10
・議決結果・議決賛否	P11
・特集	P12

議会をもっと知りたくなる情報紙

県立高校の進学先確保を求める意見書を県に提出!

<参考>学園の森義務教育学校の児童生徒推移状況



合計

- ・5年ケース：2027年までは増加し(約3,430人)、以降は減少傾向に転換
- ・10年ケース：2028年までは増加し(約3,330人)、以降は減少傾向に転換
- ・15年ケース：2027年までは増加し(約3,220人)、以降は減少傾向に転換
- ・20年ケース：2027年までは増加し(約3,080人)、以降は減少傾向に転換

*上記の〇年ケース 計画人口の達成までの期間。
5年、10年、15年、20年ケースで検討を実施しています。
(令和元年5月30日全員協議会資料「人口増加地域における児童生徒数の推計値について」より)

つくば市の児童生徒数急増に対する 県立高校の進学先確保を求める意見書 (要旨)

これからの県立高等学校が果たすべき役割として掲げられている『地域の中の学校』として地域の人財を地域で育成するためにも、つくば市の県内公立高校への進学先確保のため、以下のことを強く要望いたします。

- 1 つくば市の最新の児童生徒数の推計値及び進学状況を調査検討すること。
- 2 つくば市から通学可能な県立高校の適正配置(通学手段を含む。)について検討すること。
- 3 2021年度改編される土浦一高の募集規模を見直し、8学級規模を当面維持すること。

TX沿線開発などによる人口の急増に伴い、児童生徒数が増加しています。このような状況を受け、市では児童生徒推計の見直しを行いました。今後は学校の整備などを進めていきます。

一方、2019年2月に県教育委員会から「県立高等学校改革プラン」が発表されました。これを受け、市議会では、急増している生徒の高校の進学先を確保するため、9月定例会において、意見書案を全会一致で可決し、10月に茨城県知事、茨城県教育委員会に提出しました。



校舎増設を行っている学園の森義務教育学校

議会報告会開催

意見交換会も行います。
皆様のご参加をお待ちしております。

2019年
11/10 (日)

午後1時30分から4時まで
つくば市役所コミュニティ棟
1階 会議室1~3

9月定例会ハイライト

一般質問

19名の議員が白熱の議論を展開

議案審議

令和元年度一般会計補正予算など65件の議案などを審議

請願

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願外1件

意見書

つくば市の児童生徒数急増に対する県立高校の進学先確保を求める意見書外2件

12月定例会開催予定

- 12月3日(火) 開会・議案上程
- 10日(火) 一般質問
- 11日(水) 一般質問
- 12日(木) 一般質問・議案等総括質疑
- 16日(月) 総務委員会・文教福祉委員会
- 17日(火) 市民経済委員会・都市建設委員会
- 20日(金) 討論・採決・閉会



木村 修寿 議員

つくば政清会

上河原崎・中西地区土地区画整理事業の 公益施設用地について

質疑 開発に伴う児童・生徒数の増加が考えられるが、小学校用地は確保してあるのでしょうか。

答弁 高山中学校北側の隣接地に約1・5haの小学校用地が配置される計画となっています。

質疑 小学校用地約1・5haでは狭くないでしょうか。

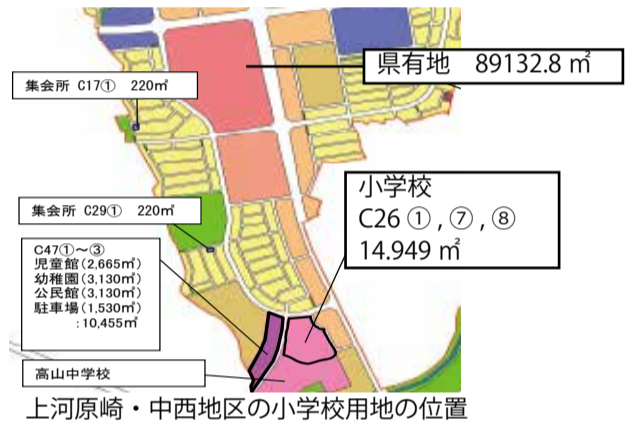
答弁 市内の既存の小学校には、敷地面積が1・5ha前後の学校は複数あるので、特段狭くはないと考えています。

質疑 (仮称)つくばスマー

トーC南側の公益施設用地を高山中学校脇の公益用地へ統合し、たかどうか考えますが、これに対する市の見解を伺います。

答弁 昨年度、県から地区南

側の公益施設用地を地区中央部の公益施設用地へ統合する計画の提示があり、庁内関係部署との協議の結果、一体化が望ましい旨を県へ回答しました。



このほか、つくばエクスプレス、万博記念公園駅北側自転車駐車場、万博記念公園駅前駐在所について質問しました。



大久保 勝弘 議員

つくば市政クラブ

高工ネ研南側未利用地の売却について

質疑 A事業者の提案内容を

基本的に売却を進めていますが、この土地は市の発展を左右する案件です。66億円で購入し、参考価格は67億8千万円、A事業者の評価は40億円です。売却すれば赤字が27億8千万円となりますが、売却するのはいかがでしょうか。

答弁 この用地は、総合運動

公園計画が住民投票の結果、市民の反対で白紙撤回され、不要になりました。その時点で方向性を決定しなければならなかったの

ですが、決定されないうままです

で、市としての方針を示してきました。そのうち、今回は事業計画案を検討しており、事業者から提案があったものに対し売っていくわけです。少しでも高く売らなくてはならないですが、いたずらに延ばし、さらに赤字が積み重なっていく状況、税収がそこから得られない状況になってはいけませんので、少しでも早く方向転換をしなくてはならないとの思いで取り組んでいます。

質疑 9月6、7日の説明会

では、多くの方から公的利活用や売却反対、北部振興の考え方について、市長はなぜ会議に来ないのかなどの質問が集中していました。これらに対する見解を伺います。

答弁 総合運動公園の住民投票

時のお話を聞いていたような印象を受けましたが、用地返還の交渉をし、この問題の解決の道筋をつけ、今後のルールをつくるという面では、責任を全うしていると思っています。

このほか、平沢官衛遺跡の改修工事、つくば物語のイベントの中止理由など、ふるさと納税の取り組み、つくば市の経済成長戦略について質問しました。



塩田 尚 議員

山中八策の会

いじめ対策について

質疑 7月3日、岐阜市立中学の3年の男子中学生が「自分が死ねば、いじめた側はどうなるのだろう。」との遺書を残し自殺し、さらに、9月8日、川口市の男子高校生が「教育委員会の大ウソつき。なんのために生きていくのかわからなくなつた。」との遺書を残し自殺しました。このような悲惨な事件はつくば市においても断じてあってはなりません。明るい未来をつくるため、ありとあらゆるい

じめ対策を講ずべきと思いが、市の対策を伺います。

答弁 市では、それぞれの学校に校内のいじめ対策委員会があり、誰が得た情報であってもそこでの共有がルールになっています。

また、いじめを解消する、無くすために一番必要なことは、何よりも早期発見、早期対応が大原則だと考えます。様子見により、最悪の場合には自死に追い込むこともあり得ることを認

識しつつ対応すべきであると考えています。

さらに、市では、人とのつながりをしっかりと築く社会力を育てることで、いじめを「防止する」「根絶する」ことも考えながら対応していく必要があると考えています。

今、市が改定をしている未来構想のビジョンにもありますが、我々が目指す社会の姿を示し、その実現に向かい進むことにより、子ども達も一緒にその実現に向け動いていくことで、いじめを根絶させることが、大人の大きな責任と想っています。今後もいじめ問題には全力で取り組んでいきたいと考えています。



小久保 貴史 議員

自民つくばクラブ・新しい風

宝篋山登山と周辺整備について

質疑 宝篋山登山客数の現状と周辺整備および駐車場の確保と登山者の安全確保について伺います。

答弁 登山客数は、昨年度、年間で約10万人で、今後も増加が予想されます。しかし、登山客の増加に伴い、ゴールデンウィークや秋の紅葉シーズンには市営駐車場が満車となり、路上駐車の問題も発生しています。また、周辺道路についても、道幅が狭いことから、地元車両が

通行する際、登山者の安全が確保できないなどの問題も発生しています。これらの問題を踏まえ、今年度中には路上駐車禁止区域の設定が行われることになっていきます。今後は、新たな駐車場用地の確保に努めるとともに、周辺道路も関係各課と協議し、整備を図ってまいります。

また、駐車場については、今年度に近隣を調査しており、駐車場として使えるような用地がありますので、これから購入とい



筑波山(左)と宝篋山(右)

このほか、認定農業者や新規就農者、多面的機能支払交付金、商店街空き店舗活用補助金の活用について質問しました。



五頭 泰誠 議員

自民つくばクラブ・新しい風

高エネ研南側未利用地の実現可能性について

質疑 全員協議会で説明があった高エネ研南側未利用地の活用事業者の公募に関して、今後の進め方について伺います。

答弁 価格による入札方式や価格と事業内容などを審査するプロポーザル方式など、今後、検討を進めます。なお、公募に際しては、事業の実施に関する規定、区域の整備や保全に関する規定、転売などに関する規定など詳細な条件を設定し、実際に土地全体を取得し、事業を実施する事業者の公募を行います。

質疑 公募が実現し、公募事業者が40億円で決定し、借入金額67億円のうち40億円を返済した場合、残り27億円の資金調達について財政的にどのような方法があるか伺います。

答弁 差額が生じた場合は、一般会計予算に計上し、つくば市土地開発公社に支払いを行う流れになります。支払いの時期、金額が決まり次第、歳入歳出予算を調整していくことになりま

す。財源は、現時点でこれに当てる特定財源がありませんので、財政調整基金などで対応することになるかと考えています。

要望 実現可能性について、広く多様な議論の実施を要望します。



高エネ研南側未利用地位置図

このほか、ウエルネスパークでのレジオネラ菌検出の経緯と因果関係、入札について昨年の11月からのランダム方式の実績と推移について質問しました。



小野 泰宏 議員

公明党

住民ニーズに素早く応えるために庁内の連携を

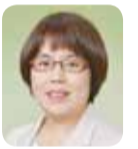
質疑 昨年の9月議会で質問した「現場から上がった地域課題やまちづくりの課題を庁内で共有し、解決のために他の施策に結び付けること」について、その際に市長から「検討していきたい」との答弁がありました。が、その後の検討状況について伺います。

の要望などの把握に努めてきましたが、昨年9月から、周辺市街地振興室が市内8地区での周辺市街地まちづくり勉強会へ毎回出席するとともに、地区の民生委員協議会や区会の支部単位の集まりなどにも出席し、地域課題などの共有を深めています。また、各地域の特徴などのリサーチを基に、地域振興を念頭に若手職員による政策提言を行い、庁内や関係部署に周知するなどの動きも始めています。さらに今年度から、地区相談課長に次長級職員を配し、庁舎配置の地区担当監も2名に増員し、よりスムーズな庁内連携ができれば、日常的に各地域の課題などの情報共有に努めています。

答弁 地区相談課・地区相談センターでは、各地区の区会連合会総会、地区別タウンミーティングなどに出席し、各地域

要望 重複した行政サービスを提供をやめ、非効率な行政運営から脱却し、生活といったトータルな課題解決に悩む住民ニーズに素早く応えるために、さらに庁内での共有と連携を推進していただきたい。

このほか、安心して住み続けられる地域づくり、高エネ研南側未利用地について質問しました。



山中 真弓 議員

日本共産党

TX沿線に県立高校誘致を!

質疑 児童生徒の急増による県立高校不足への対応は急務です。市から県へ要望書を提出しましたが、その後の進捗について伺います。

答弁 市内の県立高校の設置要望については、TX沿線地域を中心に多くの子育て世代が転入しており、自宅に近い高校への進学希望があることや、市内県立高校の定員数が進学希望者に比べて少ないことから、市から県に提出した「茨城県の予算

編成等に対する要望」では、平成29年度から重点要望の一つとしています。また、今年2月に県教育委員会が策定した「茨城県立高等学校改革プラン基本プラン」では、新たな県立高校の整備計画は示されていませんが、引き続き要望していきます。

質疑 人口データではTX沿線の谷田部地区の現9年生と、最も数が多い3歳児を比較すると約5百人増加します。今後、住宅開発が進めば、さらに

児童・生徒数は増加します。高校設置までの間、当面市内の生徒が通学する高校のクラス数や進学クラスを増やすことなども要望に盛り込むことができるのでしょうか。

答弁 要望の内容にそういったことが可能かも含め、今後検討したいと思います。県は全体として人口減少にあるということですが、市は県内の他の自治体と全く違う状況にありますので、今後も粘り強く要望していきたいと思っています。

このほか、民間路線バスの高齢者割引と高齢者の移動手段、産後ケア事業、放課後児童クラブの職員の処遇について質問しました。



橋本 佳子 議員

日本共産党

介護保険料、申請減免の拡大を!!

質疑 市では、「介護保険料・利用料が制度として低所得者に配慮されている」との説明ですが、納付書で支払っている方の徴収率は90%を大きく下回っており、第1段階の市民税非課税で本人の年金と合計所得が80万円以下、第4段階の世帯に市民税課税者がいて本人の年金と合計所得が80万円以下、第6段階で前年の合計所得が120万円未満の3段階で滞納者の占める割合も高くなっています。市の

裁量で申請減免を広げることができるか市の考えを伺います。

答弁 介護保険料については、既に市独自に、国の基準より引き下げています。その財源は、高齢者の保険料で負担するもので、市独自の引き下げを拡大するために、65歳以上の被保険者の保険料を引き上げることは適当ではないと考えています。

利用料についても、既にさまざまな低所得者への配慮を行っています。このような介護保険

児童・生徒数は増加します。高校設置までの間、当面市内の生徒が通学する高校のクラス数や進学クラスを増やすことなども要望に盛り込むことができるのでしょうか。

答弁 要望の内容にそういったことが可能かも含め、今後検討したいと思います。県は全体として人口減少にあるということですが、市は県内の他の自治体と全く違う状況にありますので、今後も粘り強く要望していきたいと思っています。

このほか、民間路線バスの高齢者割引と高齢者の移動手段、産後ケア事業、放課後児童クラブの職員の処遇について質問しました。

法の制度を広く周知し、公費による負担軽減を引き続き行うことで、高齢者全員にメリットがある安定した制度の運営に取り組んでいきます。

要望 申請減免0人から一人でも多くの方が救われるように申請減免を広げることを強く求めます。



市介護保険リーフレット

このほか、幼保無償化に伴う給食費の減免、介護職不足の解消、通学路の安全確保のために歩道や緑石の草刈の回数を増やすことについて質問しました。



滝口 隆一 議員

日本共産党

今こそプラスチック削減を

【質疑】 海洋プラスチック憲章

などで、プラスチック製品の削減が求められています。日本政府も官庁食堂で、ペットボトルや使い捨てコップの使用禁止を

実施しています。プラスチックごみ処理費用について伺います。

【答弁】 リサイクルセンターの建設費は約40億円、今年度のプラスチック製容器包装とペット

ボトルの収集費用は、それぞれ約5千万円です。リサイクルセンター運営費の予算は約3億2

千万円です。プラスチック製容器包装の処理費は約40万円、

ペットボトルの売払いは約5百万円の歳入となる見込みです。

【質疑】 ペットボトル自販機を

公共施設からなくす・マイボトル給水器設置、勉強会の開催、代替えプラスチック研究支援、

プラスチックごみ週1回の収集などを実践すべきと考えますが、市の見解を伺います。

【答弁】 一部の審議会で飲料提供を廃止し、マイボトル持参を

促す取り組みをしています。また、ごみの減量などの勉強会を開催しています。今後は、これらの取り組みに加え、給水機設置なども調査・研究をしていきます。収集回数は、今年度を試験期間とし、今後は市民アンケートや実際の収集量などを総合的に考慮し検討していきます。

市では代替えプラスチック関連のスタートアップや研究への調査も行っています。



このほか、災害時の浄水確保、高工ネ研南側未利用地、フル非正規職員について質問しました。



浜中 勝美 議員

公明党

働き方改革と健康経営について

【質疑】 「働き方改革関連法」

の施行により、長時間労働の是正や従業員の労働状況の適切な把握など、健康増進への取り組みを経営上のコストではなく、

戦略的な投資と位置づけ、生産性の向上や医療費負担の削減、さらには企業のイメージアップ

を目指す健康経営の推進が求められています。市における①職員、②教員、③企業に対する取り組みについて伺います。

【答弁】 ①衛生委員会を設置し、

職員の健康増進や職場環境の改善などに関し、産業医を含む委員で調査・審議し、その結果を職員に周知するとともに、課題の解決に取り組んでいます。また、職場環境改善や職員の健康教育も行っています。

②教育局職員と学校代表によるプロジェクトチームを設立し、労働時間の改善などの検討を進め、10月末を目途にアクションプランを策定します。そのほか、タイムカードによる勤務時

間管理、留守番電話の導入などを行いました。校長会でも、市全体で実施する行事の見直しを行っています。また、毎月の時間外労働が基準を超えている場合、ストレスチェックで高ストレスと判断された場合などに産業医との面接を勧奨するとともに、希望者が面接指導を受けられるようにしています。

③企業訪問時にヒアリングを行い、働き方改革への取り組みの現状把握に努めています。また、就職支援イベント時に茨城労働局と連携し、働き方改革相談会を実施する予定です。

このほか、地区防災計画について質問しました。



木村 清隆 議員

つくば政清会

「上水道配管工事」について

【質疑】 要望させていただいた「つくば市上郷地域の念願の上水道整備」に向けて本管設置工事が進められていますが、

①具体的な進捗状況、②本管工事後、各戸に対する面整備の具体的な取り組み、③上水道整備完了までの各簡易水道組合に対する維持管理費用について伺います。

【答弁】 ①配水幹線整備については、上水道未整備地域の解消と、市北部地域低水圧対策事業

を盛り込んだ配水幹線整備基本計画に基づき、今年度より事業に着手しており、現時点では順調に整備が進んでいます。

②配水幹線整備完了後、使用可能となった路線に隣接する地区のうち、給水要望が提出されている地区について説明会を実施の上、水道加入の意思を確認し、順次整備を進めていきます。

③簡易水道組合への支援については、消毒液の購入や水質検査費用などに対して補助を行っています。

ています。今年度よりさらなる充実を図るため、施設の老朽化対策として、給水管や圧力タンクなどの修繕費用に対する補助も行っています。

【要望】 上郷高等学校跡地の陸上競技場整備(案)に対して、上水道整備が間に合うよう要望します。また、簡易水道組合に対して、上水道整備完了まで、市からの維持管理費の助成を要望します。

このほか、公園・通学路ほか道路の除草管理並びに樹木管理など、新天皇ご即位奉祝事業などの考え・取り組みについて質問しました。



塚本 洋二 議員

つくば市政クラブ

高齢者福祉助成事業について

【質疑】 高齢者タクシー運賃助成事業については、現在は利用できる対象者の条件があります

が、今後、高齢者の移動手段の一つとして、この助成事業の対象者の条件を広くし、利用可能な高齢者数を多くしたいと考えています。この事業の現在の申請・利用状況と市の取り組みについて伺います。

【答弁】 高齢者タクシー運賃助成については、今年度、65歳以上の一人暮らしの方、70歳以上

の高齢者世帯などの見直しを行い、500円券を一人当たり年間18枚交付しています。昨年度の申請者数は1776人、交付者数は1741人で、主に通院などに利用されています。今後はタクシー助成券の利用状況などを把握しながら、より利便性の高い事業内容にしていきます。

【要望】 今後も調査しながら事業を進めていただくよう要望します。



つくば市高齢者タクシー運賃助成券

このほか、筑波地区の実証実験で4コース運行されている支線型バスについて質問しました。



かねこ 和雄 議員

新社会党

児童館の暑さ寒さ対策について

質疑 昨年は、西日本を中心に記録的な大雨となりましたが、

その後は太平洋高気圧の影響で晴れ、厳しい暑さが続きました。7月23日に埼玉県熊谷市で日本歴代最高気温の41.1度を記録するなど、全国的に記録的な高温となりましたが、その中で夏休み中の児童への対策として、児童館の役割は大きいものがあります。児童館における暑さ寒さ対策について伺います。

答弁 児童館は、プレイルームを除くほぼ全ての部屋にエアコンを設置し、適正温度を保つようにしています。機能が低下した空調機は、随時新しいものと交換しており、今年度は九重、吾妻東児童館の空調機の入替えを実施しました。また、児童にはこまめな水分補給と空調の効いた涼しい部屋で過ごすことを促しました。

なお、プレイルームについても、エアコン既設の大曾根児童館と東児童館を除く16児童館に

エアコンを設置する計画を進めています。

現在設計委託を行っている谷田部、二の宮、松代児童館の3館でエアコンの設置工事を進め、冷暖房効果を検証しつつ、他の児童館にも順次設置してまいります。具体的には、来館者数と建築年、利用状況などを総合的に勘案し、年に2、3館ずつ設置したいと考えております。



このほか、ふるさと納税、児童発達支援センターの新設について質問しました。



くろだ 健祐 議員

自民つくばクラブ・新しい風

本庁舎敷地内全面禁煙について

質疑 7月から本庁舎が敷地内全面禁煙となりました。その判断に至った議論の経過、理由について伺います。

答弁 庁舎敷地内全面禁煙については、7月1日施行の健康増進法の改正に向け、公共施設の喫煙状況調査や職員アンケートを実施しました。これらの結果や衛生委員会、関係部署の意見などを踏まえた上で市長、両副市長と協議を重ね方針を決定しました。

方針決定の主な理由は、改正法は原則として敷地内全面禁煙であること、副流煙だけではなくサイドハンドスモークと呼ばれる残留受動喫煙の有害性を考慮したこと、また職員アンケートにおいて、回答者数1627人のうち過半数を超える約65%の職員が、敷地内全面禁煙に賛成であったことなどが挙げられます。

なお、改正法では原則敷地内禁煙とするものの、屋外におい

て施設の利用者が通常立ち入らないなど一定の条件を満たした場所に喫煙場所を設置することができるとされているため、候補場所を検討しましたが、適切な場所はありませんでした。県が先行して、全面禁煙を決定したことも参考としています。

要望 改正健康増進法においても喫煙所の設置は可能なので、設置を要望します。

このほか、筑波山太陽光および関連する事項について質問しました。



以前の市役所喫煙所



こもりや 佐弥香 議員

つくば・市民ネットワーク

新設校は地域開放&災害に強い設計を

質疑 TX沿線地域には地域交流センターが無く、未だ計画も無いため、新設校に地域住民の居場所としての機能を用意できると良いと考えます。地域連携の設置、図書室や音楽室などの学校開放、温水プールにして授業以外の時間帯を市民が利用できる例もありますが、市ではどう考えますか。

答弁 新設校については、具体的にそういった設計には至っていませんが、そのような考え方もあるということですので、今現在検討をしているところです。

質疑 台風や大雨などの災害時には学校は避難所として使われます。今後の新設校は災害時にも役に立つ規模の発電装置、省エネ設備が必要と考えますが、市ではどう考えますか。

答弁 災害に備えるという視点は、非常に大切だと思います。これからエコスクールも含め、費用対効果および維持費など総合的に考えながら、そして子ども

もの教育ということも視野に入れたら検討していく必要があると考えています。



竹園東小の太陽光発電



きたぐち ひとみ 議員

つくば・市民ネットワーク

中高一貫併設プランの見直しを!

質疑 TX沿線の児童生徒が急増する推計が出されている中、県は今年2月「県立高等学校改革プラン」を公表しました。対象の県立高校では受験できるクラス数が激減します。このプランについて概要を伺います。

答弁 新たな12のエリア区分の設置や中高一貫教育校の設置が主な内容となっています。中高一貫教育校については、市近隣では、令和2年に竜ヶ崎第一、令和3年に土浦第一、令和4年

に水海道第一、下妻第一にそれぞれ併設型中学校を設置し、1学級から2学級の募集を行います。それに伴い高校の学級数を減らすというものです。中高一貫教育校設置の狙いは、地域の中学校としての中心的な役割を果たすこと、地域のリーダー、地域の学びをベースに世界に飛び立つ人材を育成することと示されています。

質疑 市内の保護者から正確な情報を求める声も届いています。

答弁 今後も県と連携を強化し、保護者や生徒の不安が少しでも無くなるよう、やれることをやっていきたいと思えます。ただ、説明については、県の事業ですので、県が説明することが基本になると思います。

要望 県に対し、市の児童生徒数の最新の推計を早急に提出し、地域の状況を勘案し、このプランを再検討するよう要望していただくようお願いいたします。

このほか、学校図書館司書教諭補助員の配置について質問しました。



みながわ ゆきえ
皆川 幸枝 議員

つくば・市民ネットワーク

「遊び」を取り入れた自然保育認証制度の導入について

【質疑】 子どもの自発的な「遊び」は健やかな成長のために必要不可欠であるにも関わらず、今は、塾やゲーム機などの普及で、子ども達は外で遊ばないため、「遊び」は危機的な状況にあります。「遊び」について教育大綱に盛り込む考えがあるのでしょうか。

やり抜くことであったり、挑戦することであったり、自分で考え責任を持つとか、そういうことを含めて創造的な学びを得られるものが遊びだと思っておりますので、教育大綱の中でも文言の精査をしながら、必ず入れていきたいと考えています。

【質疑】 自然体験を多く取り入れ、子どもの自発的な「遊び」を促す幼児教育・保育を独自に支援する自然保育認証制度を設ける自治体も出てきています。



自然の中での保育

市でもこのような自然保育認証制度の導入に向け、調査・検討する考えはあるのでしょうか。
【答弁】 自然保育認証制度の調査などについては、幼児教育・保育の無償化開始後の施設の利用状況や推移を注視するとともに、すでに制度の導入実績のある長野県や鳥取県などの事例を調査しながら、導入に向け研究してまいります。



すとう みつあき
須藤 光明 議員

つくば市政クラブ

市の西部地区の観光振興について

【質疑】 市の未来構想における小貝川沿岸である西部地区は、観光リゾート地域として位置づけられています。この地を核として、金村別雷神社など既存の施設を整備し、利活用しながら賑わいのある地区にしてはどうでしょうか。また、小貝川を利用した船下り遊船事業を提案していますが、地域の観光振興の現状と方針を伺います。

【答弁】 これまでの地域振興は、公共施設をつくるということが

多かったですが、そういう時代は終わりました。重要なことは、地域資源をどう生かしていくかです。現在進めている各地区の勉強会で地域の方々や地域の魅力を考え、発信していく努力こそが本当の地域振興だと思っております。我々はそのパートナーとして、全力で取り組んでいきたいと考えています。

今後、小貝川流域の各自治体と連携したイベントの実施や上郷ジオサイトでもある川口公

園でのイベントの開催を検討していきます。

次に、船下り遊船事業については、平成30年度に関係自治体や関係機関で構成される小貝川流域水面利用協議会に加盟し、その利活用についての意見交換などをするとともに、既にリパークルーズ事業を実施している境町の視察を行いました。今後は、河川事務所との協議や費用対効果の検証を行い、その方向性を検討していきます。

このほか、市の建設行政として認定市道の本数と総延長について、市道の白線化の整備、県道谷田部赤浜線および都市計画道路妻木金田線の整備促進などについて質問しました。



やまもと みわ
山本 美和 議員

公明党

研究学園(葛城地区)の交通対策

【質疑】 研究学園駅周辺地域の交通対策については、市民の皆様から多くの声が上がっています。①市役所東側の信号のない交差点、②駅北側の「歩車共存道路」への対策について伺います。

【答弁】 ①平成22年度から信号機設置を警察署に要望してきま

したが、当該交差点の近距離に信号機が設置されると、さらなる渋滞発生が懸念されるとのことと、設置には至っていません。今後も引き続き要望を行うこと

もに、今年度から実施する都市計画道路整備プログラム策定支援業務でも交通渋滞の現状と要因を分析し、解決の方策を検討してまいります。②歩行者通行空間の路面の塗り直しや「歩行者に注意」の看板を設置し、安全対策に努めていきます。

【質疑】 研究学園(葛城地区)への循環バスの導入の状況について伺います。

【答弁】 研究学園エリア区会連絡会との意見交換では、公共交

通改編計画に位置づけるには至りませんが、今後は、再度意見交換会などを開催し、ニーズ把握に努め、総合的に検討してまいります。また、全国的なバスの運転手不足の動向も注視し、バス事業者と連絡を密にしてまいります。

【要望】 公的施設も増えてきている地域ですので、今後も利便性向上のための調査・検討をお願いいたします。

INFORMATION お知らせ

傍聴

市議会(本会議・委員会)は簡単な手続きで傍聴できます。ぜひ、つくば市議会議場(市役所6階)にお越しください。

なお、日程は変更になることもありますので、電話またはホームページでご確認ください。

【問い合わせ】

議会事務局議会総務課

Tel 029-883-1111

(内線 6110・6120・6130)

ホームページ <https://www.city.tsukuba.lg.jp/shisei/shigikai/index.html>



つくば市議会モバイル

議会中継・録画放映

上記ホームページにアクセスし、「議会中継」をクリックして、視聴してください。本会議(定例会・臨時会)の開催時間には生中継をご覧いただけます。また、本会議開催日ごとに3日後(休日を除く)から録画映像を視聴することができます。ぜひご覧ください。※委員会の配信はございません。

議会報編集委員

委員長	長塚 俊宏
副委員長	木村 清隆
委員	山中 真弓
委員	小森 谷弥香
委員	高野 文男
委員	黒田 健祐
委員	山本 美和
委員	須藤 光明



期日 令和元年7月31日～8月2日
場所 新潟県上越市・長野県松本市・長野県上田市
内容 上越市の市民手帳およびまち・ひと・しごと創生推進協議会についての研修では、市民手帳は広報のチャンネルが動画配信などの傾向を強める中、あえて手帳という手法で市の広報をしている意図に着目しました。説明を伺い、現在の広報動向の中での難しさを感ずりました。

また、創生推進協議会の取り組みでは、「オール上越」を志向している取り組みを学びましたが、国内の合併の事例の中でも多数の市町村が合併した上越市ならではの取り組みと感じました。
 松本市文書館についての研修では、昨年4月につくば市は「公文書管理指針」を作成したところで

期日 令和元年7月30日～8月1日
場所 千葉県千葉市・大分県大分市・佐賀県伊万里市
内容 学校に代わる居場所、学びを支援する新しい取り組みである千葉市のフリースクール事業の研修では、引きこもり状態のご家庭を訪問するアウトリーチ事業は取り組みべき事業だと思いました。担任の先生を孤立させず、子どもに応じた多様な支援があることに驚きました。その子どもの状況に合わせた働きかけにより家以外の居場所ができた、学習を保障することに成功した事例も出ています。

大分市が運営するリサイクルセンターで実施する障がい者共同受注の実現についての研修では、複数の障がい者施設法人が協議会を作

り受け皿となり取り組んでおり、双方の取り組みがあり実現できたものです。市の発注できる仕事を見つけ、当事者団体や法人も連携して受け皿を作り、市がコーディネートする関係が必要だと感じました。

伊万里市では、健康づくり課の保健師を中心とした、食生活から慢性疾患に至らないための予防、健康診断の受診率向上のための医師との協力、市民の健康づくりのためにきめ細かな取り組みなどについての研修を受けました。また、地域の食生活習慣からくる糖尿病の重症化が医療費の高騰につながることを課題にしています。

上田市の指定管理者モニタリング評価および政策研究センターについての研修では、指定管理者を導入している公共施設がつくば市の10倍以上あるなど、その数に驚きました。

であるならば当然モニタリング評価制度を導入しなければ、適切な管理は難しいと感じました。合わせて職員がその施設運営業務にある程度精通していないと、せっかくの評価制度が形だけのものになるリスクも当然あり、指定管理という「成果による統制」を現場で評価する職員の能力の向上が鍵になると感じました。

ですが、長野県ではそもそも県レベルで文書の保存などに対する位置づけが高く、こうした取り組みをきちんと行っていることや、文書だけでなく、広く民間からの地域文書も整理保存している所に行政の成熟度というものを感ずりました。

市独自の継続的な個人への支援が医療費の抑制につながっていることに感心しました。



伊万里市

文教福祉

総務

常任委員会 行政視察報告

先進的な施策を調査研究し、市政への提言にいかすため、各委員会が行政視察を行いました。



松本市文書館



三郷市

都市建設

市民経済



都城市

期日 令和元年7月23日～7月25日
場所 埼玉県三郷市・山口県山口市・山口県萩市
内容 今回の行政視察の主なテーマは区画整理事業と地域振興プランと公共交通についてです。
 3つの自治体は、それぞれの自治体特有の事情があり、それぞれ地域の事情をよく把握した上で、最善の施策に取り組んでいると感じました。

例えば、Aという施策が自治体①にはうまく機能するが、自治体②には、施策Aがうまくいくとは限らない、むしろ自治体②には、Bという方法の方が適しやすいというようなことです。三郷市、萩市、山口市の3市の視察を行って、行政施策の比較、検討、環境および状況把握を理解することができたことは収穫だと思っております。つくば市の都市計画や公共交通の施策を考える上で、

大変参考になりました。
 都城市では、スマート農業についての市の取り組み状況や市内の農業法人で実施されている実証内容について研修を行いました。A-ICTを活用し、試行錯誤しながら取り組んでいる状況などは大変勉強になりました。

一番重要なのは、つくば市にとって最善および最適な施策は何なのか、そのための状況把握や市民要望または施策として可能な範囲はどこまでなのか、まちづくりの変化に対応できるものなのか、今後も執行部のさまざまな施策について、チェック機能を発揮できるように委員一同、その役割を再確認することができました。

都農町では、都農ワインでの農業・産業振興について、ワイナリー設立までの経緯やその運営状況などの説明のほか、醸造施設の見学を行いました。つくば市も平成29年12月に「つくばワイン・フルーツ酒特区」の認定を受け、市内でも、つくば市産ワインづくりが開始していますので、



山口市



都農ワイン

総務

『成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例』

審査結果 可決すべき

改正の内容について

成年被後見人などは、制度ごとに欠格事項などの制限がありました。地方公務員法の改正により、能力を適正に判断することとなりました。主な変更点は、成年被後見人が公務員の採用試験を受験することができ、また在職中に成年被後見人となった職員も勤務を継続できるようになることです。

国から全額補助を受け、希望する学校に普及推進を図り、児童生徒が豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てることを目的とした事業で、並木小、葛城小、荜崎第一小、谷田部東中の4校が希望し、すべて採択されました。

『請願31第6号「市内の聴覚障害児への教育環境改善に関する請願書」』

審査結果 趣旨採択とすべき

聴覚障害の方に対する市の対応について

問い合わせがあった場合は、医療保険や障害者自立支援制度、医療福祉制度など国や県の事業も含め説明し、対応しています。

人工内耳の装着とメンテナンスに関する対応について

人口内耳については、医療保険や障害者自立支援制度が適用され、本人は一割負担となります。また、医療福祉制度により、装着については無料でできる場合が多いですが、一方でメンテナンスについては市としても課題です。

メンテナンスの経済的負担の支援など多々課題があり、幅広く支援する必要があるため、趣旨採択にとどめ、より実効性の高い制度として進めて行く方が良く考えます。

他自治体の先進事例も参考にし、環境を整えていきたいので、趣旨採択とすべきです。

市民経済

『令和元年度つくば市一般会計補正予算(第2号)』

審査結果 可決すべき

緑越明許費の陸上競技場整備基本構想策定支援業務委託の繰越理由について

今年の12月に契約、その後、策定検討委員会やパブリックコメントを行い、令和2年5月に業務完了を予定しているため、繰越しをするものです。

プレミアム付商品券事業の対象者について

2016年4月2日から2019年9月30日までに生まれた子どもがいる家庭の世帯主として2019年度住民税非課税者が対象となります。

『つくば市地域交流センター条例の一部を改正する条例について』

審査結果 可決すべき

消費税の増税は市民負担が大きく、負担は圧縮すべきと考え、反対します。

社会保険充実のため必要であると考え、賛成します。

文教福祉



『令和元年度つくば市一般会計補正予算(第2号)』

審査結果 可決すべき

学校教育研究支援に要する経費のオンラインピック・パラリンピック教育推進事業の概要について

『令和元年度つくば市一般会計補正予算(第2号)』

審査結果 可決すべき

つくば中央インター北土地区画整理に要する経費の事業の進捗状況について

平成30年8月27日に、つくば中央インター北土地区画整理組合設立準備会の結成届が提出されました。現在、準備組合は、デベロッパーと基本合意に向けた協議を行っています。また、市は都市計画事業として本事業を実施するため、準備を行っています。

『令和元年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)』

審査結果 可決すべき

ポンプ場等包括的維持管理業務委託の変更点について

管理業務に加え、施設修繕、植栽管理業務を含め発注するもので、これまで3年間の委託でしたが、5年間の委託に変更します。

「令和元年8月豪雨災害」、「令和元年台風第15号千葉県災害」および「令和元年台風第15号東京都」義援金を送りました!

令和元年9月27日につくば市議会全議員から、災害被害の救援事業を支援するため、日本赤十字社を通して義援金を送りました。被災地域の日も早い復旧と被災された方々が一日も早く平常の生活に戻れることを心からお祈り申し上げます。

つくば市地酒等による乾杯の推進に関する条例(案)に対するパブリックコメントの実施

～皆様からのご意見をお聞かせください～

つくば市内にある2つの酒造で製造する日本酒が、平成30年度全国新酒鑑評会において「金賞」を受賞しました。また、本市は、平成29年12月に内閣総理大臣から「つくばワイン・フルーツ酒特区」に認定されております。

市内には、つくば国際会議場があり、毎年、大規模な講演会やシンポジウムなどのコンベンションも数多く開催されていることから、『つくば市』をPRする絶好の機会を、今後、最大限にいかしていけるよう、この条例を制定し、「つくば市産の日本酒およびワイン(以下「地酒等」という。)」での乾杯を推進することで、地酒等の普及促進を図り、もって市内産業の活性化につなげていくとともに、来訪者に対するおもてなしにもつながると考えているところです。

つきましては、条例制定の参考にさせていただきたいと考えておりますので、市民の皆様のご意見をお寄せください。

- 募集期間：令和元年11月1日(金)～11月22日(金) *施設閉庁日を除く。

- 資料の閲覧場所 議会事務局(市役所6階) 情報コーナー(市役所1階) 各窓口センター、各地域交流センター 市議会ホームページ

- 意見の提出方法 以下の方法により提出してください。 直接持参(上記閲覧場所のうち市政情報コーナーを除く) 郵送又はFAX(所在地、FAXは表紙をご覧ください。)、電子メール(市議会ホームページ専用フォームから)

- 結果の公表時期 令和元年12月頃に上記閲覧場所で公表します。詳細は市議会ホームページをご覧ください。



平成30年度決算認定

令和元年9月3日の本会議において、議長と議会選出の監査委員を除く26名で構成する決算特別委員会を設置しました。決算特別委員会は、9月定例会で付託された平成30年度一般会計歳入歳出決算認定、各特別会計歳入歳出決算認定、平成30年度水道事業会計未処分利益剰余剰および決算認定を審査するため、委員会および各常任委員会での分科会を開催しました。

決算特別委員会審査概要

◆一般会計歳入歳出決算認定

▼審査結果II認定すべき
質疑 ロボットの街つくば推進に要する経費の歩行者用信号情報発信システムの活用目的について

答弁 将来、自動運転ロボットが実現した場合に信号を読み取り安全に渡れるよう情報を正確に発信する装置が必要となり、その安全性を検証するため設置しました。

質疑 AIを活用した道路路面診断システムの実証実験の成果について

答弁 実証実験は、最終的な成果は出ていませんが、道路パトロール車に搭載したカメラ画像の結果は、熟練した職員が普段点検しているものと同程度の精度があります。

質疑 公務災害などの内容と防止策について

答弁 平成29年度の公務災害などは17件、平成30年度は18件で経験の浅い方や50代、60代の方に多く、打撲や捻挫、骨折が多い傾向です。防止策については、定期的な注意喚起や産業医の職場巡視による結果をもとに衛生委員会でも原因と対策を審議し改善を図っています。

質疑 児童福祉費負担金の収入未済額8872万6668円の経過と取り組みについて

答弁 収入未済額は保育料の未納分、滞納繰越分と現年度に分かれています。滞納者に対しては電話などでの催促や納付方法の指導を行っているため、ここ3年ほどで未済額は減少しています。また、平成25年から児童手当からの徴収も行っています。

質疑 生活困窮者自立支援事業に要する経費の子どもの学習支援事業の課題と成果について

答弁 課題としては、対象を学区で限定していたため、すべての子どもに支援が届かなかったため、令和元年度からは廃止しています。成果としては、子どもや保護者に対するアンケートでは満足度が高く、継続して通う子どももいます。

質疑 地区相談に要する経費の相談内訳について

答弁 道路や街灯、信号機などの建設部門、ゴミや下水道など生活部門、合わせて7割強が生活に密着した相談となっています。

質疑 収入未済額の状況について

答弁 主に市税、負担金および使用料などで約22億7千万円となっています。市税は約14億4千万円であり、一斉催告の実施や、コンビニ・クレジットカードでの納付などの取り組みによ

◆下水道事業特別会計歳入歳出決算認定

▼審査結果II認定すべき
質疑 下水道整備計画に要する経費の平成29年度末から平成30年度末までの整備面積が増加しているにもかかわらず整備率が低下している理由について

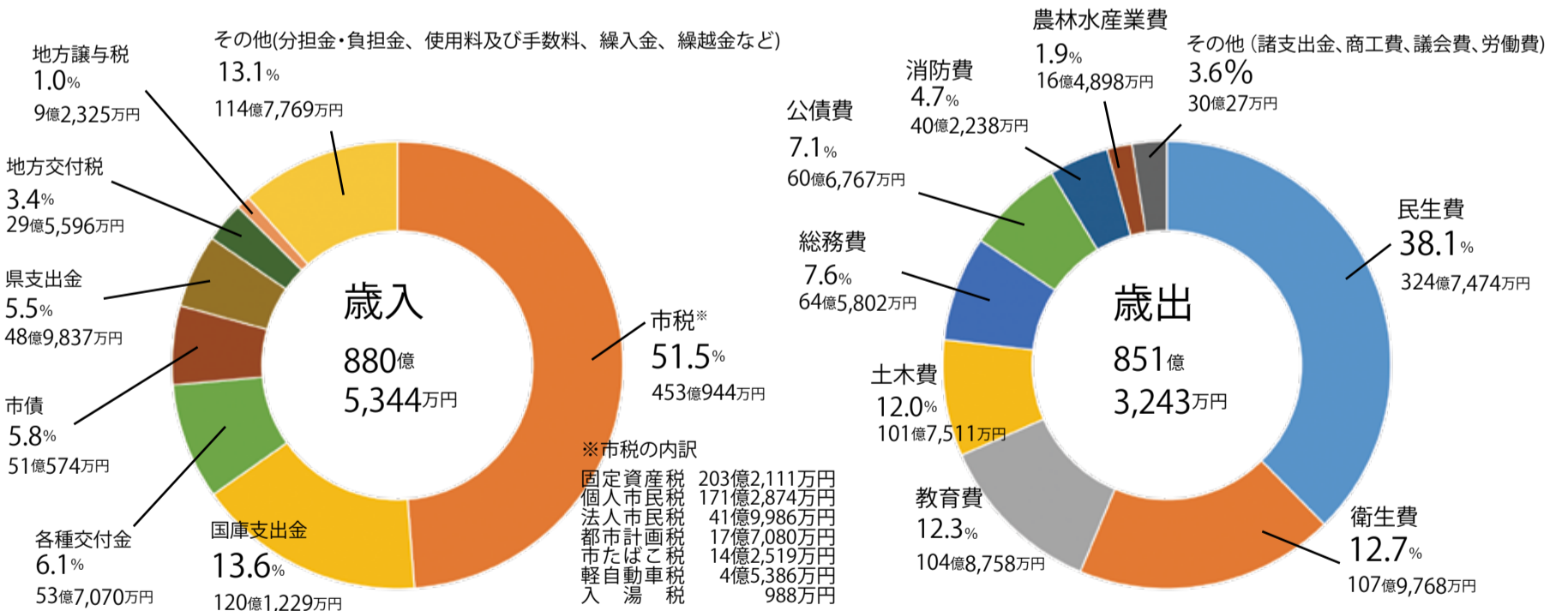
答弁 認可面積を拡大したため、事業計画面積が増加した結果、整備率としては低下しています。

◆後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

▼審査結果II認定すべき
反対討論 75歳以上の高齢者を切り離れた差別的な医療制度であり、医療費のかわらない新たな制度を国に求めたいと考えているため、反対します。

賛成討論 被保険者が年々増加する中、必要な財源や適正な医療を確保し、高齢者の方が安心して生活が送れるよう、安定した制度の運営がされていると考えるため、賛成します。

《平成30年度一般会計決算》



歳入は880億5,344万円(前年度比29億284万円、3.2%減)、歳出が851億3,243万円(前年度比9億9,183万円、1.2%減)。歳入は、市民税、固定資産税などの市税の増加により、453億944万円となり、前年度比9億5,613万円の増となっています。国庫支出金は、公立学校施設費国庫負担金などの減少により120億1,229万円、前年度比29億1,865万円の減となりました。地方交付税は、普通交付税が合併特例期間の終了により減少しましたが、震災復興特別交付金の増により、全体で29億5,596万円、前年度比2億6,913万円の増となりました。歳出は、衛生費が、リサイクルセンター建設工事などの増により、107億9,768万円となり、前年度比35億8,628万円の大幅な増となりました。教育費は、(仮称)新谷田部給食センター建設工事や(仮称)香取台地区小学校用地取得費などの増はありましたが、秀峰筑波、学園の森、みどりの学園義務教育学校建設工事の終了に伴い、前年度比56億6,740万円の大幅な減となりました。市債は、道路事業債、学校建設事業債など51億575万円発行しましたが、秀峰筑波、学園の森、みどりの学園義務教育学校建設事業債の減により、前年度比25億1,960万円の大幅な減となりました。財政状況は、財政構造の弾力性を測定する指標である経常収支比率は、前年度より1.5%上がり93.3%となっています。財政健全化比率は、実質公債費比率が6.3%、将来負担比率は58.2%となりました。財政状況は健全と判断される数値となっています。

議案審議

『令和元年度つくば市一般会計補正予算(第2号)』 原案可決

『質疑(仮称)研究学園小学校設計業務委託および(仮称)研究学園中学校設計業務委託について 小中学校併設型と聞いたが、学級数などの内容について』

『答弁(仮称)研究学園小学校の学校規模については、小学校が20学級程度、中学校が10学級程度を想定しています。体育館、グラウンドについては、小中学校のエリアを分けて整備する方向ですが、敷地の有効利用の観点も踏まえ検討していきます。プール施設については、(仮称)香取台地区小学校や他校との共同利用を検討しています。』

『質疑(仮称)竹園西小のプール改修事業の概要について』

『答弁(仮称)プール槽を新たな素材で覆うカバー工法により改修し、あわせてプールサイドの塗装を行うものです。校舎の増築工事などもあるため、児童の安全確保を第一に考え工事スケジュールを調整したところ、プール改修工事には約5カ月の工期を要することから事業を次年度まで繰り越し、来年度5月中旬に完成させ、水泳の授業に間に合わせる予定です。』

『賛成討論(仮称)研究学園小学校用地取得に向けた予算が組まれています。また、消費税増税の対応策として子育て世代へのプレミアム付商品券も計上されているため、賛成します。』

『つくば市家庭的保育等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について』 原案可決

『反対討論(仮称)19人以下の施設において連携施設の確保を不要とし、自園調理の猶予期間が5年から10年に延長されることは子育て環境の後退と考え、反対します。』

『賛成討論(仮称)厚生労働省令が改正され、家庭的保育事業者等の事業者にとって連携施設が拡大され負担が軽減されます。本条例も国に準じた措置を講じるための改正であるため、賛成します。』

『つくば市立幼稚園授業料等徴収条例の一部を改正する条例について』 原案可決

『質疑(仮称)令和元年10月から幼児教育・保育の無償化となる予定だが条文で、預かり保育料が1日につき1000円と書かれていることについて』

『答弁(仮称)預かり保育料については1日につき1000円を徴収しています。幼児教育・保育の無償化に伴い、預かり保育の必要性の認定を受けた保護者に対し、1日につき450円を還付しますが、保護者からの預かり保育認定のための申請の手続きが必要となります。』

『つくば市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例について』 原案可決

『賛成討論(仮称)議案として提出するまでにさまざまな課題など、関係者との協議、意見交換や説明についての協議、意見交換や説明についての意見交換や情報収集を行うとともに関係部署と協議を実施して

きました。臨時職員については、条例制定後、約1500人が対象となりますので、丁寧に説明したいと思っています。』

『つくば市危険物規制事務手数料条例の一部を改正する条例について』など消費税増税に伴う条例改正の議案26件 原案可決

『反対討論(仮称)消費税の8%から10%への増税は、市民生活を脅かすとともに景気まで台無しにする恐れがあります。昨今も貧富の格差が問題になっており、この偏りを是正し国民が豊かになってこそ、さらに大きな経済を作り上げます。消費税値上げによる市民生活と経済の悪化を問題として、反対します。』

『賛成討論(仮称)消費税は国の基幹税の一つであり、年金や医療など社会保障の財源となっています。そして一部は地方の財源として地域の暮らしに役立っています。今後、少子高齢化の急激な進展により、社会保障の増大による安定財源の確保が必要となるため、賛成します。』

『賛成討論(仮称)今回の改正は、消費税増税に伴い、手数料や使用料が増額する内容となっています。消費税増税自体には、反対の立場ではありますが、現実問題として増税により建物などの光熱費や維持管理費は確実に増額され、改正が行われない場合は市が税金で負担することになります。今後、さまざまな事業において、改善や拡充が求められる状況も踏まえ、賛成します。』

令和元年9月定例会議案等議決結果一覧

Table with 3 columns: Report Case Name, Case Name, and Decision Result. It lists various municipal budget and ordinance proposals and their outcomes, such as 'Original Case Approved' or 'Recognized'.

※議案第71号は市長からの申し出により撤回

案件名	議決結果	案件名	議決結果
【議案第88号】 つくばウェルネスパーク条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第106号】 市道路線の認定について	原案可決
【議案第89号】 つくば市市民ホール条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第107号】 工事請負契約の締結について	原案可決
【議案第90号】 つくばセンター広場条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第108号】 工事請負契約の変更について	原案可決
【議案第91号】 つくば市豊里ゆかりの森条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第109号】 財産の取得について	原案可決
【議案第92号】 つくば市筑波ふれあいの里条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第110号】 財産の取得について	原案可決
【議案第93号】 つくば市荃崎こもれび六斗の森条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第111号】 財産の取得について	原案可決
【議案第94号】 つくば市斎場条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第112号】 財産の取得について	原案可決
【議案第95号】 つくば市路外駐車場条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第113号】 財産の取得について	原案可決
【議案第96号】 つくば市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第114号】 財産の取得について	原案可決
【議案第97号】 つくば市都市公園条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第115号】 つくば市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
【議案第98号】 つくば市下水道条例の一部を改正する条例について	原案可決	【議案第116号】 つくば市監査委員の選任について	同意
【議案第99号】 つくば市市民研修センター条例の一部を改正する条例について	原案可決	【諮問第3号】 人権擁護委員候補者の推薦について	適任
【議案第100号】 つくば市ふれあいプラザ条例の一部を改正する条例について	原案可決	請願	
【議案第101号】 つくば市視聴覚センター条例の一部を改正する条例について	原案可決	【請願31第5号】 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	文教福祉 採択
【議案第102号】 つくば市体育施設条例の一部を改正する条例について	原案可決	【請願31第6号】 市内の聴覚障害児への教育環境改善に関する請願書	文教福祉 趣旨採択
【議案第103号】 つくば市水道給水条例の一部を改正する条例について	原案可決	意見書	
【議案第104号】 つくば市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例について	原案可決	【意見書案第4号】 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書	原案可決
【議案第105号】 つくば市森林環境 ^{しょうよ} 議与税基金条例について	原案可決	【意見書案第5号】 つくば市児童生徒数急増に対する県立高校の進学先確保を求める意見書	原案可決
		【意見書案第6号】 つくば警察署(仮称)へのアクセス確保を求める意見書	原案可決

令和元年9月定例会議員賛否一覧 (議案などに対して賛否の分かれたものを、議員からの申し出に基づき掲載しています。)

議案等番号	自民つくばクラブ・新しい風						つくば市政クラブ						つくば・市民ネットワーク				日本共産党			公明党			つくば政清会		山田尚	金子和雄	高野文男	
	長塚俊宏	黒田健祐	神谷大蔵 議長	小久保貴史	五頭泰誠	ヘイズジョン	久保谷孝夫	塚本洋二	大久保勝弘	高野進	柳沢逸夫	須藤光明	鈴木富士雄	小森谷佐弥香	皆川幸枝	宇野信子	北口ひとみ	山中真弓	橋本佳子	滝口隆一	山本美和	浜中勝美	小野泰宏	木村清隆				木村修寿
認定第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	
認定第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	
議案第67号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第70号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	
議案第78号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第79号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第80号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第81号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第82号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第83号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第84号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第85号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第86号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第87号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第88号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第89号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第90号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第91号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第92号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第93号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第94号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第95号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第96号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第97号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第98号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第99号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第100号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第101号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第102号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第103号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第104号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
議案第115号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	
議案第116号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠

※「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席。 ※議長は、可否同数の場合または特別多数議決の場合以外は表決に加わりません。
 ※会派名(五十音順) 山=山中八策の会 新=新社会党 創=創生クラブはぐくれ

文教福祉委員会紹介

◆委員長あいさつ

文教福祉委員会は、保健福祉部・こども部・教育局の市民の健康や暮らしに関わることで、子育てから教育に至る支援や環境整備など、市民生活に密着した事項の審査や調査を行っています。また、介護保険や国民健康保険、後期高齢者医療の3つの特別会計を所管しています。

私たち文教福祉委員会は、つくば市が目指す「誰一人取り残さないまち」を実現するために常に問題意識を持ち、団体の皆さんとの懇談や担当部署との勉強会を行い政策に生かす活動を心がけています。

文教福祉委員長 橋本 佳子



文教福祉委員会委員

- 木村 清隆 委員
- 北口 ひとみ 委員
- 長塚 俊宏 副委員長
- 橋本 佳子 委員長
- 金子 和雄 委員
- 山本 美和 委員
- 須藤 光明 委員

PICK UP

待機児童対策や保育士不足について 民間保育施設団体協議会の皆さんと懇談

待機児童対策は喫緊の課題になっています。民間保育施設にご協力をいただいておりますが、児童の受け入れ体制は追いついていない状況です。民間保育施設の代表者の皆さんと懇談をする中で、保育士が不足しているため、待機児童の解消につながらず、労働条件の低さから資格があっても選ばれない、選んでもより賃金の高い東京など他県に流出してしまうという切実な声がありました。市と市議会はこの意見を受け検討した結果、つくば市保育士等処遇改善助成金として保育士に月額3万円の助成金の支給が実現しました。

その後も団体の皆さんと懇談をし、検証を行っています。



2018年9月19日



PICK UP

かけはしねっと（医療的ケア児の家族会）の親御さんと懇談



保育園や幼稚園などの集団保育を認めてほしい、医療的ケア児や家族のための支援センターやショートステイができる場所を作ってほしいなど、切実な願いが寄せられました。その後、同団体から要望のあった災害時の電源喪失で、命の危険にさらされることを防ぐための発電装置購入費の補助が実現しました。さらに、市が進める児童発達支援センターの建設に向け担当部への聞き取りなど調査活動を行っています。



2018年8月22日

その他、文教福祉委員会では、聴覚障害で人工内耳の皆さんとの懇談や、中高一貫校についての調査活動などを行っています。